

- 問1 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた | 2. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた | 3. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた | 4. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた |
|---|---|---|---|
- 問2 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。
(2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 2. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため | 3. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため | 4. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
- 問3 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 石包丁 | 3. 銅鐸 | 4. 土偶 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問4 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。
(2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 2. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 3. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため | 4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため |
|---------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問5 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
| 1. 埴輪 ― 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 2. 銅鐸 ― 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 3. 土偶 ― 豊かな収穫や安産を祈るため | 4. 勾玉 ― 魔除けや身分を示す装飾品とするため |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
- 問6 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。 | 2. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。 | 3. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。 | 4. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。 |
|--|--|--|--|
- 問7 山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。 | 2. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。 | 3. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。 | 4. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。 |
|---|--|---|---|
- 問8 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 石包丁 | 2. 埴輪 | 3. 青銅器 | 4. 土偶 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問9 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。 | 2. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。 | 3. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。 | 4. 古代に朝鮮半島や中国大陸から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。 |
|--|--|---|--|
- 問10 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。
(2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 4. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 |
|--|---|---|---|
- 問11 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 2. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 3. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 4. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 |
|---|--|--|---|
- 問12 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。
(2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。 | 2. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。 | 3. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。 | 4. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。 |
|---|---|--|--|